



news release


北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号

〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2018年5月31日

報道関係各位



「ミニッツメイド Qoo(クー) どうぶつデザイン」
売上の一部を札幌市円山動物園へ寄付！！
2017年度 寄付金 8,680,460円
 ～2018年6月5日(火) 寄付金贈呈式～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行）は、札幌市とその周辺の地域限定で販売している「ミニッツメイド Qoo(クー) どうぶつデザイン」(280mlPET) の売上の一部を寄付する寄付金贈呈式を下記の通り行いますのでご案内申し上げます。

「ミニッツメイド Qoo(クー) どうぶつデザイン」(280mlPET)は 2009年 1月に締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」にもとづき、札幌市円山動物園の環境教育活動と賑わいづくりを通して、子ども達の未来を応援する事を目的に、売上の一部を2013年度より同園に寄付しており、本年度寄付金額は8,680,460円（2013年度からの累計 44,946,530円）となりました。

「ミニッツメイド Qoo(クー) どうぶつデザイン」 寄付金贈呈式概要

日時：2018年6月5日(火) 14時00分～14時30分

場所：札幌市円山動物園 動物園センター内動物園プラザ（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）

出席者：札幌市円山動物園 園長 加藤 修 様

当社 取締役 営業統括本部第二本部長 綾部 鉄郎

同製品のパッケージには、環境問題や食育への関心を持つきっかけになることを目的とし、札幌市の食育特別大使であるキャラクター「Qoo(クー)」と、同園で飼育展示されている動物(絶滅危惧種)である「ホッキョクグマ」「マレーバク」「オオワシ」「カバ」の4種が描かれており、札幌市とその周辺の地域限定で販売し、大変ご好評をいただいております。



〈ミニッツメイドQoo(クー) みかん〉
「ホッキョクグマ」「マレーバク」

〈ミニッツメイドQoo(クー) りんご〉
「オオワシ」「カバ」

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当：河西 TEL：011-888-2091

<参考> 札幌市との協働の取組みについて

➤ 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定（名称 さっぽろまちづくりパートナー協定）を締結しています。札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を2009年1月に締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

〈同協定に基づいた取組み〉

- 2010年5月より、「YOSAKOI ソーラン祭り」を応援するために、「YOSAKOI ソーラン祭りコカ・コーラ応援デザイン缶」を発売し、売上の一部を「YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会」に寄付。
- 「区民が主体のまちづくり」の推進を支援する為、札幌市内10区とも、各区の特色を活かした連携事業を展開。
- 安心・安全なまちづくりへの取組みとして、災害時の飲料供給、電光掲示板を搭載する災害対応型自動販売機を活用した防災メッセージの配信や飲料の無償提供など行う他、札幌市主催の防災訓練への参加、その他の防災啓発活動への協働での取組みを実施。

➤ 「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業」に関する協定

札幌市円山動物園を舞台として、さっぽろ市民や札幌を訪れる方々に環境問題を考えるきっかけを提供することを通じて、潤いある環境文化都市の実現に向けた環境協働事業に関する協定を2008年4月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

- 2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1,000万円を同プロジェクトに寄付。
- 次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH（ネイチャーカフェアース）」をオープンし、来園者に休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。
- 2013年4月に、環境問題や食育への関心を持つきっかけになることを目的に札幌市食育特別大使であるキャラクター「Q○○（クー）」と、同園で飼育展示されている動物（絶滅危惧種）である、「ホッキョクグマ」「マレーバク」「オオワシ」「カバ」の4種が描かれたオリジナル製品を発売。



➤ 「環境事業に関する協定」の取組み

札幌市清田区にある「白旗山における森づくり事業」や「札幌市円山動物園における賑わいづくり事業」等を通して、環境啓発活動を相互に連携して取り組んでいくことを柱とした包括協定を2011年6月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

- 白旗山にて、札幌市森林組合や市民団体などと連携し、長期にわたる森づくりを展開。
- 白旗山での森づくりをすすめる中では、「コカ・コーラ『森に学ぼう』プロジェクト～わくわく体験ランド北海道 in 白旗山～」や「山のがっこう」など、次世代を担う子どもたちを対象とした環境教育プログラムを実施。



➤ 「震災時の消火用水等の供給協力に関する協定」

札幌市において地震等の大災害が発生した場合に、被害を少しでも軽減する為、市民・企業・行政が手を携えて、震災対策の充実強化と、災害時の円滑な消防活動に資することを目的として、2014年3月に協定を締結しました。当社では、大規模な火災を消火するための消火用水の提供、中長期の消防活動に必要な飲料水の提供等に向けた備えを行っています。